

# 図書館通信

市貝町立図書館  
〒321-3423  
栃木県芳賀郡市貝町 市塙147  
TEL 0285-68-4380  
URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと  ブログはこちら

## 12月の催しもの

★本を借りてゲームに挑戦！★(※先着30名)  
「キラキラ☆オーナメントくじ引き」  
日時:12月9日(土) 9:30~11:45  
場所:図書館1階カウンター付近  
内容:クリスマスキラキラくじでプレゼントゲット!  
※本を借りたら1回くじがひけるよ!

★おもしろ科学実験教室★  
「光る絵の具で絵を描こう！」  
日時:12月16日(土) 14:00~15:00  
場所:図書館2階企画研修室  
募集:10名(小学校低学年以下は親子参加)  
内容:不思議な粉を混ぜて光る絵の具をつくるよ。  
絵を描いて暗いところで見てみよう!

★クリスマスイベント♪★  
日時:12月24日(日) 14:00~14:45  
場所:図書館2階企画研修室  
内容:図書館スタッフによる、絵本の読み聞かせ、クイズなど。  
サンタさんから素敵なプレゼントがあるかも・・・!?

お問合せ先:市貝図書館 ☎68-4380

ツイッターでも  
情報配信中!



市貝町立図書館『いっとくん』  
@ittokun\_ichikai



☆年末年始は図書館・資料館は休館だよ☆

12月29日(金)~1月3日(水)

※図書・雑誌はブックポストへ返却OK!



☆不用本募集中☆

古本リサイクル市(1/20-1/26)で配布するご家庭の不用本を募集中です。

【募集期間】12月1日(金)~12月28日(木)

【募集図書】一般書・児童書・コミックス・雑誌

※リサイクルとして配布されるものであるため、資料の状態や内容によってはお断りすることがあります。詳細はお問合せください。



☆クリスマス缶バッジゲットしてね☆

図書館に本を借りに来てね! 缶バッジプレゼントするよ~!!

【配布期間】12月22日(金)~12月24日(日)



## 図書館カレンダー



(■...休館日)

12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※月末整理日

# 読書週間ご参加ありがとうございました！

## 読書の木

皆さんのすてきなポップのおかげで最初は葉っぱだけだった木にたくさんのフルーツが実りました。本当にありがとうございます♥  
ポップはしばらくの間飾っているのので、ぜひ本選びの参考にしてください。

～皆さんのすてきなポップを  
すこしだけご紹介します～



### 『かぼんりのガラゴ』

島田ゆか // 作・絵

ガラゴがかぼんをたくさん  
持っていてびっくり！  
かわいくて大好き♥



おとなの木

こどもの木



### 『ぼく逃げちゃうよ』

マーガレット・ワイス・ブラウン // 作  
クレメント・ハード // 絵

絵がとても美しい絵本です。子どもの頃読んで大好きでした。大人になって図書館でみつけて「あ、これだ！！」と感動したことをよくおぼえています。今では家にこの本があって子どもたちに読んであげています。



## ゲームに挑戦してみよう！

日替わり数字よみパズル

わりばしパズル



ゴロ合わせです。  
何と読めるでしょうか？



マッチ棒を動かして  
いっとくんを脱出させる  
ゲームです。



読書週間中、たくさんの利用者の方に、ゲームに挑戦して頂きました。上の問題は解けたでしょうか？数字よみパズルでは予想外の答えが出たり、わりばしパズルでは違う形になってしまったりとスタッフ一同、皆さんと一緒に楽しむことができました。

数字よみパズルの答え…

193(一休さん) 482(シャツ)

## スタッフのおすすめ本

今回はクリスマスが舞台の物語をご紹介します。

### 『急行「北極号」』

C・V・オールズバーグ // 絵・文  
村上春樹 // 訳 河出書房新社

サンタクロースを待つ少年のもとに現れたのは白い蒸気に包まれた汽車、急行「北極号」！クリスマス前夜の幻想的な旅が

始まります。純粋さを失うことが大人になることではないと教えてくれる、大人にも子どもにもおススメの一冊です。

### 『キャッチャー・イン・ザ・ライ』

J・D・サリンジャー // 著  
村上春樹 // 訳 白水社

高校を放校となった16歳の少年ホールデンがクリスマス前のニューヨークの街をめぐる物語です。彼は街をさまよいながら昔の先生、友人やガールフレンドに再会していきます。「大人の世界は汚い」「みんなインチキだ」と、思いながらも一人であるのは寂しいのです。純粋でいること、それはとても孤独です。

The Catcher in the Rye  
J.D. Salinger  
キャッチャー・イン・ザ・ライ

J. D. Salinger  
村上春樹訳

## しょうちゃんのひとりごと



図書館に「みにくいアヒルの子」という童話があります。アヒルの雛の中で一羽だけ違う色の子がいて、皆からいじめられるが、春になって水に映った自分の姿を見て驚くのです。白鳥だったので。白鳥の雛は小さいうちはグレーで、黄色いアヒルのように可愛げがなかったのです。この童話から私達が学ぶことは、アヒルの雛にしては変な奴だと思っ育てるのではなく、最初から白鳥の子だと思っ育てていたら違っていたのではと思うのです。今、私は様々な方々と触れあう事業に携わっていますが、育てている感覚や育て方のプロセスが違って当たり前だと感じています。

今の育児書を読むと、大体多数派の人たちが統計上子育ては、このくらいの時期にこういことをしますよ、というデータに基づいた理論が多く、一部少数派の方は違うわけです。ただ一つ言えるのは、他の人たちと比べてさせるのではなく、今、この子が身に着けそうなことは何かというところに注目して、他の人とは違う道筋ではあるけれど、結果的にはその人が自然に身につくような支援を続けていくことが大切だと思っています。ある朝、気が付いたら白鳥になっていた、素晴らしいことだと思いませんか。

